



NPO 二枚目の名刺

年次報告書 2021



社会人が当たり前の選択肢として“2枚目の名刺”を持ち、社会の“変化”を仕掛ける未来をつくる

“2枚目の名刺”は、所属する組織、立場を超え、社会のこれからを創る時に持つ名刺です。社会貢献活動に留まらず、これまでなかった組織外での挑戦、新たな学びの形や自分らしい社会との関わりなど、生み出される様々な変革のストーリーを丁寧に編集し、社会へ積極的に発信していきます。社会人が従来の人生モデルから一歩踏み出す役割を果たす“2枚目の名刺”的な機会を多くの人に届けていくことに挑戦していきます。

“2枚目の名刺”を持つきっかけとなる 良質な越境機会を提供する



社会人に良質な越境体験を提供することで、
多様な「2枚目の名刺ストーリー」が生まれる

好循環が
生まれる

多様な「2枚目の名刺ストーリー」を社会に届けることで、
“2枚目の名刺”に興味・関心をもつ社会人を増やす

この循環を社会に生んでいくことで、“2枚目の名刺”を持つことが当たり前の社会をカタチにしていきます

“2枚目の名刺”を持ちやすい 雰囲気を社会につくる





二枚目の名刺の活動の基礎を作り、新しいチャレンジにも取り組んだ1年

2021年度は二枚目の名刺のメンバーも増え、事務局体制を強化して、団体の中心的活動であるコモンルーム、サポートプロジェクトをほぼ毎月開催したほか、近年課題感が高まっているミドル・シニアのキャリア形成に関する活動等にも取り組みました。

また、二枚目の名刺を応援いただいている皆様との関係を大切にするために、メールマガジンを立ち上げたほか、寄付・賛助会員制度も整備しました。この年次報告書もその一環です。このような取り組みが、エクセレントNPOでも評価されたと考えています。

01 / コモンルーム・サポートプロジェクト

21年は、CR開催6回、SPJ17回実施

コモンルーム(CR)に128名参加、90名がサポートプロジェクト(SPJ)で活動しました。20年度比1.8倍となり、今年度は約30のSPJを実施する予定です。

オンラインのメリットを活かして

コロナ流行後、対面実施のSPJをオンラインに切替えました。当初は不安もありましたが、オンライン実施のTIPSを活かし、参加社会人、団体共に、満足度の高いものとなりました。又、東京・大阪中心だった参加者も、全国(海外含)から参加可能になり、時間の効率化と合わせ、そのメリットが活かされました。今後もオンラインとオフラインを組み合わせ、質の高いアウトプットを目指します。

主な支援団体の分野

「社会を良くしたい」と考え活動している団体であれば、その分野に制限はありません。21年は17団体とSPJを実施しました。



一人でも多くの方に“きっかけ”を提供したい

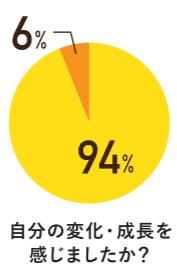
「社会課題解決に直接関わられた貴重な期間だった。」「会社では出会えない方と出会えた。」とは、参加社会人の声です。「社会課題」に直接触れ、自分事化できる方が増えると、とても良い社会になると思います。そのきっかけとして、より多くのSPJを実施して参ります。

参加社会人の“94%”が自分の「変化・成長」を実感

過去2年でSPJを経験した社会人120名に「プロジェクト参加前後の、ご自身の変化や成長の有無」を質問。実に94%113名が「変化や成長を実感した。」と返答。「相手と自分が持つ価値観を乗り合わせながら物事を進めていくことが出来るようになった。」「視野が広がった。自身の強み・弱みが再確認できた。」「社会課題への向き合い方を学べた。」等のコメントがありました。

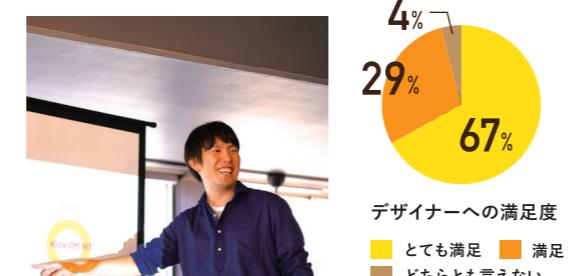
参加団体、アウトプットと共にプロセスにも満足

過去2年SPJ実施24団体に「SPJのアウトプットへの満足度」を質問。79%19団体が、「とても満足」「満足」と回答。「客観的な視点を加え、今まで不十分だったモノが、しっかり伝わるものになった。」「多様な社会人と共に、議論し、作り上げたモノは、団体の財産になった。」「人との繋がりや、新たな視点など、見えない価値もたくさんあった。」というご意見。私たちにとって新たな気づきとなりました。



サポートプロジェクトデザイナーへの満足度“96%”

SPJに伴走するSPJデザイナー。チームを引っ張るのではなく、そっと寄り添い、時に励まし、時にアドバイスし、プロジェクト全体をゴールに向けデザインする役割。アンケートでは、96%の団体から、「とても満足」「満足」のお声を頂きました。「個性豊かなメンバーに細やかに対応し、プロジェクトがとてもスムーズに進んだ。」「必要なタイミングでの、チームへの投げかけ、課題への取り組みのスタンスなど、デザイナーの存在の大きさを感じた。」これからも、更に活動の質の向上を目指します。



参加団体



NPO法人
まちのおやこテーブル
理事長
小林 洋子 さん

多様な世代が親子に関わり、かつ場の運営にも関わっていける仕組みづくりというテーマに社会人メンバーがチャレンジしてくれました。20代から60代、子育て経験がある方・ない方の多様な6人のメンバーが参加。デザイナーの皆さん細やかなフォローと小ネタで場がほぐれ、距離がグッと縮まりました。中間発表でまちのおやこを「私たち」と社会人メンバーが呼んでくれたとき、飛び上がるくらい嬉しかったです。プロジェクトのアイディアは、「まちの持ち寄りカレッジ」として助成事業に採択されました。アイディアの実現を見届けたいと6人はその後も関わってくれています!皆さんとつないでくださった二枚目の名刺に心より御礼申し上げます。

プロジェクト・デザイナー



山田 翔吾 さん
1枚目は
東京ガス株式会社で勤務

今回のプロジェクトで一番特徴的で効果的だった取り組みは、メンバー同士の1on1ミーティングの実施です。週に一回の全員での定例ミーティングに加えて、メンバー同士がペアを変えながら1on1ミーティングを実施しました。この取り組みは、住む場所も年代もライフステージも異なるメンバー同士の相互理解を促進させ、定例ミーティングでの心理的安全性を高めることにも繋がりました。この取り組みを通じて、短期間にチームの結束力を高めるには、個々の繋がりを強めることの重要性に改めて気づかされました。その結果、プロジェクト終了後も、活動可能なメンバーは団体と取り組みを継続するなど、社会を変える原動力となっています。

サポートプロジェクトに参加した方々の声



大川 紗友梨 さん
東京海上日動火災保険
株式会社
大阪南支店・東大阪支社

私にとって二枚目の名刺への参加は、人生のアップデートとなりました。働き方改革、副業、多様性、そんな言葉が飛び交う世の中で、自分は社会に貢献、通用することがあるのかな?でも…なんか面白そう。そんな私の好奇心アラートで踏み出した一歩でした。全く異なるバックグラウンドを持つメンバーと出会い、「想い」と「共感」で繋がる空間は、非日常の刺激の連続。インプットとアウトプットを繰り返しアップデートしていく自分の価値観。今、プロジェクトを終えて日常を眺める目線や考え方にも変わった気がします。1枚目の名刺を持たない時の私らしい社会との関わり方を考え、人生の幅が広がった好機を今後も大切にていきたいです。

参加企業の社員



堀 豪志 さん

越境学習。二枚目の名刺の活動はまさにこの一言に尽きるものでした。約4か月間の密度の高い活動は、会社の日常業務とは一歩離れた中で行われる新しい共創(Co-Creation)体験であり、当社が大事にする「お客様や地域社会のいざを支え、お守りする」というバーバスに再び真正面から向き合う体験でもありました。活動を通じて、参加者一人ひとりが単なる研修の枠を超えて多くの気づきを獲得し、自分が大切にする『軸』に向き合うきっかけを得ることが出来ました。予定調和なシナリオがないからこそ、強烈な越境体験を得られる貴重な機会だったと改めて感じています。人事として、一回りも二回りも大きく成長した参加者の姿を心から嬉しく思っています。

参加企業



50代のキャリアを考える
~「越境学習」と「キャリアカウンセリング」の可能性~

02 / ミドルシニアのキャリア形成

JCDAとのコラボ企画を実施

2021年9月5日、JCDA(特定非営利活動法人 日本キャリア開発協会)との共催で「50代のキャリアを考える～越境学習」と「キャリアカウンセリング」の可能性～と題するセミナーを開催し、JCDAの会員であるキャリアカウンセラー約250名の方が参加されました。

“50代のキャリア”にフォーカスし、政策の動向や法制度の解説、両団体代表からのメッセージ、二枚目の名刺の「サポートプロジェクト」や「キャリアカウンセリング」の体験談を経て、キャリアカウンセラー同士の対話の機会も盛り込んだ3時間を超えるセミナーでしたが、積極的な意見が交わされ最後まで盛り上がりいました。

人生100年時代を迎、二枚目の名刺が提供する越境学習の経験にキャリアコンサルタントが関わることで、50代以降のキャリアがより豊かになる可能性について感じられました。



03 / 世の中への発信

「二枚目の名刺ってなんなん？」 団体活動説明会 每月開催

人生100年、兼業・副業解禁の「言葉」が世の中に広まり、本業以外の場所で自分の力を活かしたい人が増えてきている一方、「キッカケがわからない」という方が多いのでは?と感じています。ホームページを見てもらえばわかる‥かもしれません、もっと積極的に団体の存在を発信して行こう!という代表の発案で、「二枚目の名刺ってなんなん?」を22年1月に開催。原則毎月11日に開催しています。過去6回平均41名の方々に応募いただき、活動説明と経験者の経験談、質疑応答とあっと言う間の1時間15分。「団体の活動がよく分かった」というお声もいただきました。これからも定期的にわかりやすい「情報発信」をしてまいります。



「2枚目の名刺」を持つひとの物語を伝える 「2枚目の名刺Webマガジン」

2021年度は11本の記事を発信しました。「未来手紙プロジェクト(前編・後編)」の記事では、サポートプロジェクトで開発したキャリア教育プログラムが現場で実践されるまでを、そこに関わった教師と国家資格キャリアコンサルタントのそれぞれの視点から語っていただきました。2度にわたりサポートプロジェクトに参加した聴覚障がい者の飯塚俊幸さんのインタビューでは、苦労しつつも「身の丈を超えた」経験やひととの出会いを活かして「障がい者雇用100%の会社」をつくろうと起業するまでの物語を紹介しました。

大切にしているのは、社会課題に向き合うNPOのスタッフや2枚目の名刺を持つ「ひと」の物語。2枚目の名刺を持つことを「べき」として呼びかけるのではなく、登場する一人ひとりの物語に共感してもらいい、2枚目の名刺を持つというスタイルに興味を持っていただくことを意識しています。

他にも、渋谷区の小学生がまちづくりに取り組む「Social Kids Action Project」や、キャリアコンサルタントの団体であるJCDA(特定非営利活動法人 日本キャリア開発協会)と共催したイベントの報告なども発信しました。



計算書類

● 活動計算書 (2021年4月1日～2022年3月31日)

(単位：円)

経常収益	経常費用
受取会費 5,000	事業費
受取寄付金 10,000	支払報酬 3,483,000
NPO等支援事業収益 5,606,615	その他経費 1,282,457
受取利息 58	管理費
雑収入 727,680	外注費・支払報酬 677,273
経常収益計 6,349,353	その他経費 924,089
	経常費用計 6,366,819

当期経常増減額 ▲17,466

法人税、住民税及び事業税 70,000

前期繰越正味財産額 3,231,611

次期繰越正味財産額 3,144,145

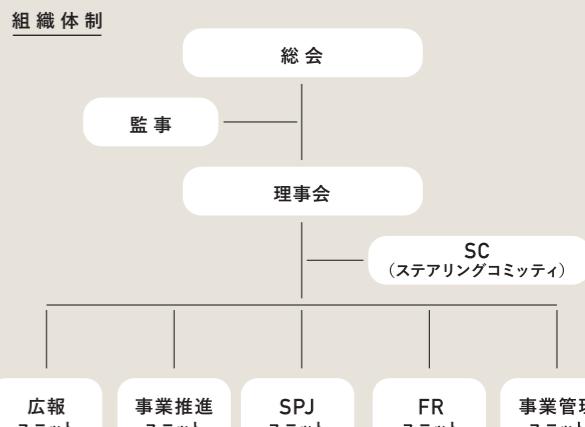
● 貸借対照表 (2022年3月31日現在)

(単位：円)

資産の部	負債の部
流動資産	流動負債
現金預金 7,186,229	前受金 2,750,000
未収還付法人税等 7	未払費用 1,159,192
	未払法人税等 70,000
	未払消費税 43,500
	預かり金 19,399
	負債合計 4,042,091
正味財産の部	
前期繰越正味財産額 3,231,611	
当期正味財産増減額 ▲87,466	
正味財産合計 3,144,145	
資産合計 7,186,236	負債及び正味財産合計 7,186,236

団体概要

団体名称	特定非営利活動法人 二枚目の名刺
設立	2009年9月 (2011年2月東京都の認可を受けてNPO法人化)
代表	廣 優樹
事業内容	1 NPO法人との協業事業 2 企業・行政との連携によるパラレルキャリア普及事業 3 調査・研究事業 4 メディア事業
住所	〒151-0063 東京都渋谷区富ヶ谷一丁目31番1-504号
W E B Facebook Twitter	http://nimaime.or.jp https://www.facebook.com/Nimaimenomeishi https://twitter.com/nimaimenomeishi



※注 SPJ=サポートプロジェクト FR=ファンドレイジング

04 / 二枚目の名刺の活動を見つめ直し、次のステップへの摸索



エクセレントNPO大賞受賞 ~「健康診断」としての自己評価~

NPO二枚目の名刺は、第9回エクセレントNPO大賞において大賞と市民賞を受賞しました。同賞は、自己評価を行なが改善につとめる非営利組織を応援し、社会に「見える化」をすることを目的とした賞で、基準に基づいて取り組んだ自己評価の内容に対して審査が行われます。

NPO二枚目の名刺は団体の「健康診断」としてこの自己評価に毎年取り組み、組織体制や取り組み内容についてメンバー同士で対話を重ねてきました。日ごろは団体の取組について本質的な議論をする時間がなかなかとれない中で、このエクセレントNPO大賞のために自分たちの活動を振り返ることは、団体の在りかたを考える貴重な機会にもなりました。

この自己評価をきっかけに、サポートプロジェクトの年間計画を公表して定期的かつより多くの機会を提供できるようになり、賛助会員と寄附の受け入れを開始し、参加方法を多様化することにつながったりといった、実務上の改善にもつながっています。

これからもNPO二枚目の名刺は、「社会人が当たり前の選択肢として、2枚目の名刺を持ち社会の変化を仕掛けている未来」の実現を目指して活動していきます。

2021年度において、前年同様、「市民賞」にノミネートされた。

“2枚目の名刺”から生まれる“変化のストーリー”を

今回、NPO二枚目の名刺では初めてとなる年次報告書を取りまとめることになりました。社会に変化を仕掛ける試行錯誤。継続的に2枚目の名刺ストーリーを生み出し、後押しするチームでの取組み。メンバー全員が“2枚目の名刺”を体現しながら、“2枚目の名刺”が当たり前の選択肢となるように挑戦してきたことが、ぎゅっと詰め込まれたものになりました。年次報告書ではありますが、ぜひNPO二枚目の名刺の取組み紹介としてご覧ください。

NPO二枚目の名刺では、これからもNPOと社会人をつなぐ仕組みを進化させていきます。思いを持つ人が誰でも手を挙げれば参加できるサポートプロジェクトを中心に、良質な越境機会と社会との多様なかかわり方を提案。また、より多くの人が、社会課題を当事者として受け入れ、社会のこれからを創る活動にかかわっていくことを後押ししていきたいと思います。

2枚目の名刺というアイテムがあるからこそ生まれる、NPO、社会人、そして社会人が所属する組織に変化が生まれるストーリーを、協働してくださる皆さんとこれからも一緒に手掛けていきたいと考えています。



特定非営利活動法人二枚目の名刺 代表
廣 優樹

次年度の
主な取組み

企業連携の
取組みの拡大

SPJに参加した方々の
コミュニティの創設

2枚目の名刺が
浸透した先の社会を
掴むような発信

次年度に向けた
CRとSPJの
主な取組み

プロジェクト
件数を拡大し、
年間30件開催

月に1回、
団体活動説明会
を定期開催

社会人や団体の
「声」を分析して
次につなげる

二枚目の名刺の活動への参加方法

イベントへの参加方法

Common Room、サポートプロジェクトをはじめとする各種イベントについては、二枚目の名刺HPやFB、メルマガにおいて案内をしています。募集期間内に記載されているPeatix等のURLからご応募ください。

運営メンバーへ応募

NPO二枚目の名刺は、ビジョン・ミッションの達成を目指し集まった「組織運営メンバー」により運営されています。運営メンバーは随時募集していますので、詳細は以下のURLをご覧ください。
<https://nimaime.or.jp/recruit>

最新のイベント情報や
活動報告、また、2枚目
の名刺に係る参考情報
などを、月1回定期的に
お届けしています。登
録は右のQRコードより
お願いします！



メルマガ「二枚目通信」

賛助会員(二枚目会員)・寄付のご案内

私たちの活動をより多くの人
達に届けたい、そういう想いの
ために、賛助会員(二枚目会員)
となっていただいたり寄付
により、私たちの活動を支援い
ただける方を募集しています。

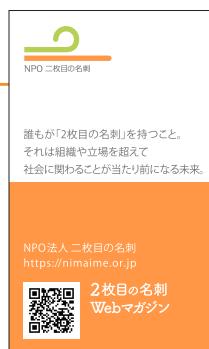
二枚目会員向け特典

- 年次報告書の送付(年1回)
- サポートプロジェクト報告会の見学
- アンバサダー名刺の発行(任意)※

※ 別途、制作費等をいただきます



○ アンバサダー名刺 見本



誰もが「2枚目の名刺」を持つこと。
それは組織や立場を超えて
社会に貢献することが当たり前の未来。

NPO法人二枚目の名刺
<https://nimaime.or.jp>

2枚目の名刺
Webマガジン
[https://nimaime.or.jp](#)

二枚目会員や寄付についての詳細は右記のQRコードから

